

あつめた! 出会い ふれあい 深め合い

男女共同参画週間 報告

開催期間 6月23日(木)~30日(水)

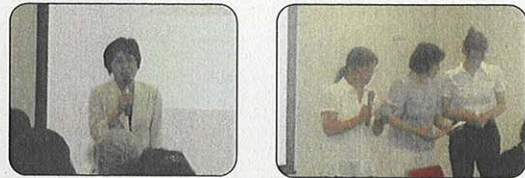
「男女共同参画週間」の関連事業として、パネル展示と、E ネット(男女平等推進センター登録活動団体ネットワーク)との協働で、2回の基礎講座を開催しました。多くの皆さんに受講していただきました。



基礎講座(基礎コース)

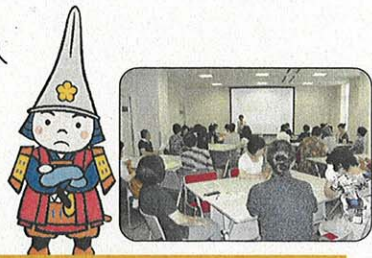
6月28日(火)開催

- 「高岡市男女平等・共同参画都市宣言」を読み上げ、高岡市が宣言都市であるということを再確認しました。
- 太田センター所長が、男女平等・共同参画社会実現にむけたこれまでの高岡市の取り組みの紹介や、今後の課題について話しました。



~受講者の感想から~

- 自分自身がまだまだ**固定的役割分担**の意識や、**社会通念**にとらわれているという事がわかった。
- DVの相談**が高岡市でも多くなっているという事に驚いた。
- 世代ごとによって**男女平等・共同参画の意識に違い**がある。子どもの頃から家庭でも、男女平等について教えていくべきだと思う。
- 男女平等・共同参画のあゆみ**は、機会をとらえて、いつも市民に伝えていく必要があると思った。
- 人権・両立・参画の推進**。一人一人が努力を重ねる必要があると思った。



基礎講座(ステップアップコース)

6月30日(木)開催

- E ネットの「NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち」の進行で、ワークショップを通して話し合いました。
- 各テーブルごとに、これからの男女平等推進センターでできること、期待したいことを話しあい、様々なアイデアが出て活気ある講座になりました。



~受講者の感想から~

- センターの役割**について、あらためて考える良い機会になった。
- Eネット**への加入グループが多くなって、お互いの活動について**情報交換**できればよいと思う。
- 市民協働による、場作り**ができるとうれしい。
- 高岡市には、「**男女平等推進センター**」という施設があることを広めたいと思った。
- 市民が自由にたのしめる雰囲気「**センター**」になっていくことを共に取組む。
- センターの存在**を広めたい。



パネル展示



●今年度の男女共同参画週間メインテーマであるポジティブ・アクションについて、会話形式でわかりやすく解説しました。

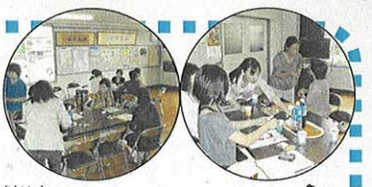
Eネットの「E」は
Equality「平等」を
表しています。

男女平等推進センターキャラクター
ありてちゃん

●ザメンとは、男女平等・共同参画に積極的に参加し、自分自身も成長する高岡の男性のことです。

広げよう!

平成23年度富山県男女共同参画推進員高岡連絡会 ミニ地区懇談会のご案内



男女共同参画を地域で推進するため、各地区でミニ地区懇談会を行っています。8月・9月の開催は次のとおりです。ぜひお近くの地区で開催されるミニ地区懇談会にご参加下さい。

| | | | |
|-------------------------|------|---------|-------------------------------------|
| 8月26日(金) 19:00~21:00 | 定塚地区 | 定塚公民館 | 北日本放送(株) 永井宏子さんによる対談 「職場の男女共同参画」 |
| 9月16日(金) 19:30~21:00 | 牧野地区 | 牧野地区公民館 | 男女平等推進センター相談員によるDVに関する講演 |



受講者募集!! ご参加お待ちしております。

そろそろ再就職をお考えの方のための 再就職準備セミナー ~働く姿勢を明確に、ビジネスマナーもしっかりと~

8月26日(金) 13:00~15:30
男女平等推進センター会議室

(財)21世紀職業財団富山事務所
Tel (076) 444-1526
高岡市男女平等推進センター
Tel (0766) 20-1810



- 講演「これから働く皆さんへ」
〔講師〕男女平等推進センター所長 太田 真由美
仕事と家庭の両立や、様々な困難があっても乗り越え、いきいきと働きつづけるための心構えや工夫についてお話しします。
- 講演と実技「面接に好印象を与えるビジネス・マナー」
〔講師〕キャリアコンサルタント、ビジネスコーチ 越智 真琴氏
面接時や就職後の日々を快適に過ごすためにも不可欠なビジネス・マナーを実技を交えてご指導します。



Eフェスタが提起してきたこと

~これまでをふりかえって、今後へ~

【平成17年(2005年)から毎年開催】
今年も、8月28日から9月4日までEネット(高岡市男女平等推進センター登録活動団体ネットワーク)主催によるEフェスタが開催されます。今年で7回目になります。
毎年、メインイベントと団体・グループによるワークショップや展示、その他で構成され、メインイベントについては、これまで「協働」や「生き方」「まちづくり」「働き方」「環境」「クオータ制」などをテーマに実施されてきました。EネットがまとめたEフェスタ報告書に書かれた感想や意見を拾いながら、ふりかえってみました。

【Eフェスタをとおしての感想・意見】
~どうしたらさらに多く人の参加、参画をえられるか~
報告書に書かれている意見・感想で多いのは、「どうしたらEフェスタを含む男女平等・共同参画の事業等に、さらに多く人の参加をえられるか」ということです。
「男女平等の理念での暮らしやすいまちをつくらう、という姿勢がなかなか地域へ伝わりにくい」「いかにして男女平等・共同参画の市民活動の輪を広げるか」「男女平等・共同参画のまちづくりをすすめるため、どのような企画で集まってもらおうか」など問題点があげられています。

~センターの姿、あり方は~
さらに報告書で多く書かれているのは、センターのあり方についてです。

センターの講座・事業等の工夫といったことについては、「ワークショップ等での参加者の気づきが1回では難しい。持続し、発展させるためには、センター自身が発信していくことが大切」「センターで元気になり、Eいままちづくりに参画していくためのシステムづくりが必要」等々といったものです。
センターの「場」としての役割といったことについては、「いろいろな人が集まる場に」「女性たちに、語り合いの場をさまざまな形で提供していくセンターに」等々の意見が出されています。

【課題を共有し、活動をとおして解決の方向へ】
これらについては、今後も、センターとEネットが具体的に連携・協力した活動を展開するなかで、実現していく必要があるのかなと思っています。そのためには、「Eフェスタで見えてきた課題の解決に向けて、センターとEネットが協働で取り組むことの姿勢が重要」とEネット報告書にも書かれているように、センターとEネット、登録団体等が、センターの有り様を共有化し、実現の方向・役割を確認しつつ、進めていくことが大事だと思います。
連携した活動を積み重ねるなかで、ともに進めていきたいと思っています。

男女平等推進センター
所長 太田 真由美